# 心の窓



#### 校訓:かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年12月10日(金)

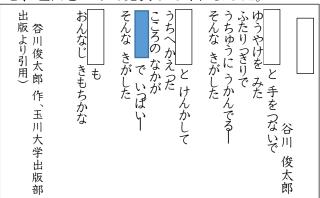
南関町立南関第四小学校 学校だより

No.32 文責:松永 尚子

## 研究授業(4年生)をしました。

12月3日(金)、4年生(堀川教諭)の学級で、研究授業を行いました。国語で「心の動きを言葉にして、詩を書こう」という単元でした。この学習を通して「生活の中で自分の感動を伝えるために、言葉を選んだり構成を工夫したりして詩に表すことができる児童」の姿をめざして学習を組み立ててありました。研究授業の時間は、谷川俊太郎さんの『ともだち』の詩の書き方の工夫を考えました。

まず、題名から考えました。下の詩です。口に入るのが、「ともだち」か「あいつ」かについて考えました。すると、「最初に入れるのに『あいつ』では合わないから『ともだち』だと思う」「『あいつ』だと近所で昔から仲良かったみたいなイメージがあるから『あいつ』だと思う」など、理由をつけて発表してくれました。



谷川さんは、「ともだち」と題名をつけましたが、自分なりに理由を考えているところが素敵です。次に、 に入る言葉を考えました。





次の5つの言葉(とげ、ひかり、なみだ、どろ、石)から、自分ならどれを入れるか、また、ましたの理由について、しっかり考えひみ、意見や「との発表ノートにそれぞれ書き込みなだ」の発表した。子どもたちからは、「なみた」のでもでました。詩をしまるとば、でした。ときの谷川さんかしたときの谷川さんかしたときの谷川さんかしたときの谷川さんかしたときの谷川さんかしたときの谷川さんかしたときの谷川さんがまった。

います。このように、一つの言葉にこだわって、しっままで、おり考えて、詩をつくり、それを4年生の詩れとして、記書をして、はいるという担任の思いが教育専門とでは、一次では、一次では、「授業の基盤は学級して、当り、といった。これがらも可張ります。これがらも可張ります。

## みんな、がんばったね! 持久走大会

7日(火)は、持久走大会を行いました。 子どもたちは、本番に向けて、業間の時間に 5分間走をしたり、試走に3回ほどでかけ たりして、練習を頑張ってきました。はじめ は、なかなか本気になれない子どももいま したが、6年生の体育委員さんが放送で、み んな真剣に取り組んでほしいということを 伝えてくれ、だんだんと気持ちが盛り上が り、当日を迎えました。そして、本番。みん なが自分の目標タイムを達成できるよう に、精一杯自分の力を出し切っていました。 子どもたちの一生懸命な姿は、ほんとうに 素敵でした。お昼の放送で、教頭先生から 「みんなの一生懸命な走りに、心からの拍 手をおくります」という講評がありました。 これから、この頑張りを、学校生活、学習、 運動に生かしていってほしいと思っていま す。交通指導や沿道からの声援など、ご協力 いただき、ありがとうございました。





### 授業参観・PTA研修会・学級懇談会を行いました。

7日(火)、午前中の持久走大会の後、授業参観とPTA研修会、学級懇談会を行いました。保護者の皆様には、たいへんお世話になりました。

PTA研修会では、「ネット社会をかしこく豊かに生きるために」という題で、以前、 玉名管内の小学校長をされ、現在は真和高校で教鞭をとっておられる戸田俊文様にご 講演いただきました。

力をつけるために、、、、心要な取り組、、ないのとないない。とないとない。これの組んで、よなにないとないに生きかにときかにといいといいといい。

